



相馬野馬追（相馬市・南相馬市）

一千有余年の昔、相馬氏の祖といわれている平将門が下総国（千葉県北西部）に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりと伝えられ、現在では、毎年7月末の土曜日・日曜日・月曜日、甲冑に身を固めた500余騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物をつけて疾走する豪華絢爛で勇壮な戦国絵巻を繰り広げる。



株式会社アサカ理研

JASDAQ 証券コード：5724

株主の皆様へ

第47期第2四半期株主通信

平成25年10月1日から平成26年3月31日まで

個人投資家の皆様へ

詳しくはホームページを
ご覧ください。

<http://www.asaka.co.jp>



■ トップインタビュー

株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成26年9月期第2四半期の事業概況、及び今後の見通しについてご報告申し上げます。

Q1. 平成26年9月期第2四半期の業績についてお聞かせください。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府ならびに日銀の経済・金融政策により、円高是正と株価上昇が進み、景況感はゆるやかな回復を示しました。

一方、当社グループの経営成績に影響の大きい、電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンやタブレット端末の普及、車載電子機器の増加等の流れによって、世界的な需要は拡大しつつあるものの、国内での生産活動は、総じて低調に推移しており、使用される貴金属の量も減少傾向にあります。

また、主力製品である金の価格は、ドルベースでの価格下落を受け、前年同期の価格水準を下回って推移しました。銅の価格は、このところ軟調な動きとなっていますが、当期累計の平均では、前年同期を上回る水準となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間においては、新規取引先の拡大などにより、受託加工取引も含めた貴金属の総取扱数量は増加いたしました。しかし、貴金属価格の下落及び受託加工取引の割合増による販売数量減少の影響から、売上高は、4,084百万円（前年同四半期比14.6%減）となりました。営業損益は、貴金属相場下落及び製品構成の変化による売上総利益の減少、上述の技術開発投資の増加、海外子会社取得に伴う費用増加、新市場開拓のための営業費用の増加等によって、118百万円の損失（前年同四半期は152百万円の利益）となりました。経常損益は、127百万円の損失（前年同四半期は154百万円の利益）となり、四半期純損益は、補助金収入58百万円を特別利益として計上したことによって、40百万円の損失（前年同四半期は95百万円の利益）となりました。

Q2. 当期特に注力したことは何でしょうか。

当社グループでは、貴金属事業・環境事業に次ぐ事業の柱を育てるべく、大規模な技術開発投資を実行しております。福島県いわき市に取得した用地に、レアメタル・レアアースに関する研究開発拠点を新設し、レアメタル・レアアースの新しい分離・精製技術の確立に向けた実証試験を行っております。

同地にて現在開発中の技術は、独立行政法人日本原子力研究開発機構が基礎技術を開発した新しい溶媒抽出技術で、従来の技術に比べて、格段に抽出効率が高いことが特徴です。この技術は、コンパクトかつシンプルな装置を使用し、低コストで迅速な回収ができるうえ、分離した元素を濃縮する性能も備えております。さらに、環境に優しい技術でもあります。



代表取締役会長

代表取締役社長

山田慶太 野納敏展

当社は、同機構との共同研究によって、基礎技術にいくつかの新しいプロセスを加え、実用化を目指しています。今回、2件の大型の補助金（平成23年度「希少金属使用量削減・代替技術開発設備整備費等補助金（レアアース・レアメタル使用量削減・利用部品代替支援事業）」及び平成25年度「ふくしま産業復興企業立地補助金」）を活用し、優位に実証試験を実施することができます。今期中に実証試験を終え、早期の事業化を目指してまいります。

当期間においては、建屋の建設が完了し、実証設備の設置を進めてまいりました。

同時に、貴金属の回収品目を拡大するための前処理技術の開発や、生産工程の合理化にも取り組みました。その他の新規事業テーマについても、技術開発や販売拡大に向けた活動を継続しております。

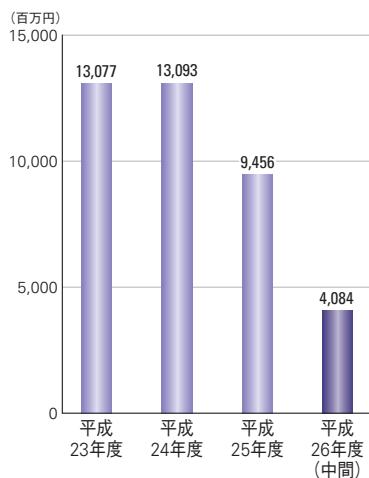
Q3. 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

当社は、新しい事業の柱を築き、さらなる成長を遂げることを目指して、新規事業開発のための新技術の実用化、海外での事業展開という、二つの大きなチャレンジをしております。

いずれも容易なチャレンジではありませんが、これらを達成し、企業価値の向上を図るべく、従業員一丸となって努力してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高

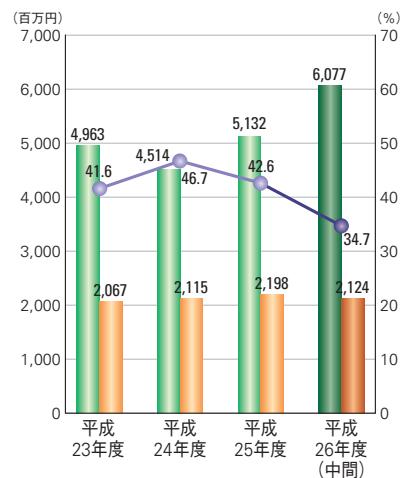


経常利益、 中間(当期)純利益



■ 経常利益 ■ 中間(当期)純利益

総資産、純資産、 自己資本比率



■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率

■ 当第2四半期 連結累計期間の概況

■ 貴金属事業

当事業の主要なお客様が属する電子部品・デバイス工業分野の生産は、前年同期と同程度の水準で低調に推移しましたが、取引先の開拓等によって、貴金属の総取扱数量は増加いたしました。一方、貴金属の販売価格は、前年同期の水準を下回りました。また、取引形態変更による受託加工取引の割合が増加したことによって、貴金属の販売数量は前年同期実績を下回りました。この結果、売上高は、3,686百万円（前年同四半期比16.2%減）となりました。セグメント利益は、貴金属価格の下落、製品構成の変化による売上総利益の減少、海外子会社取得に伴う費用増加、新市場開拓のための営業費用の増加によって、149百万円（同62.4%減）となりました。

■ 環境事業

当事業の主要なお客様が属する電子回路基板業界の生産は、減少が続いており、電子回路基板向けエッチング液及び銅ペレットの販売数量は、前年同期の実績を下回りました。一方、銅ペレットの平均販売価格は、前年同期を上回る水準となり、新規事業である光触媒事業での販売も伸びたことから、売上高は371百万円（前年同四半期比3.2%増）となりました。セグメント利益は、新規事業の拡大やコスト削減等の効果によって、45百万円（同107.3%増）となりました。

■ その他

その他に含まれるシステム受託開発事業及び運輸事業の売上高は、91百万円（前年同四半期比7.9%減）となり、セグメント利益は、3百万円（前年同四半期は2百万円の損失）となりました。

■ 第2四半期連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (平成26年3月31日)	前期末 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産	2,672	2,781
固定資産	3,405	2,350
有形固定資産	3,225	2,175
無形固定資産	23	23
投資その他の資産	156	150
資産合計	6,077	5,132
負債の部		
流動負債	2,058	1,712
固定負債	1,894	1,220
負債合計	3,953	2,933
純資産の部		
株主資本	2,087	2,164
資本金	504	504
資本剰余金	339	339
利益剰余金	1,290	1,367
自己株式	△46	△46
その他の包括利益累計額	22	20
新株予約権	14	12
純資産合計	2,124	2,198
負債純資産合計	6,077	5,132

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成25年10月1日～ 平成26年3月31日)	前第2四半期 (平成24年10月1日～ 平成25年3月31日)
売上高	4,084	4,781
売上原価	3,536	3,978
売上総利益	548	802
販売費及び一般管理費	666	650
営業利益又は営業損失(△)	△118	152
営業外収益	7	16
営業外費用	17	14
経常利益又は経常損失(△)	△127	154
特別利益	58	—
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	△69	153
法人税、住民税及び事業税	0	75
法人税等調整額	△22	△17
少数株主損益調整前四半期純利益 又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40	95
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△40	95

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成25年10月1日～ 平成26年3月31日)	前第2四半期 (平成24年10月1日～ 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△85	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,052	△49
財務活動によるキャッシュ・フロー	923	△11
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△215	116
現金及び現金同等物の期首残高	683	439
現金及び現金同等物の四半期末残高	467	556

■ マレーシア企業 TWINKLE METAL (M) SDN BHD社の 子会社化について

当社は、2014年4月8日付で、マレーシアのペナン州に本社を置く、TWINKLE METAL (M) SDN BHD社（以下「TM社」と呼称します）の株式を取得、子会社といたしました。

当社は、新市場開拓として、電子部品メーカー各社も進出しており、成長著しい東南アジアを中心に市場調査を行ってまいりました。

TM社は、マレーシアを拠点に鉄及びアルミスクラップのリサイクル事業を展開してきた企業です。同社は、貴金属回収技術を有していないものの、貴金属リサイクル事業への参入を目指しており、同国でリサイクル事業を行う上で不可欠な貴金属処理リサイクルライセンスを所有しております。

今回の子会社化により、当社は、同国での貴金属処理ライセンスを短期間で取得できるだけでなく、TM社の現地ネットワーク及び事業ノウハウを活用することが可能となります。これらのノウハウを当社の貴金属回収技術と統合することで、迅速に事業を立ち上げることができると考えます。

当社は、TM社の子会社化を、東南アジアにおける事業展開の足がかりとして、事業の安定的成長を目指してまいります。



■ TWINKLE METAL (M) SDN BHD社概要

- | | |
|---------|--|
| (1) 名称 | TWINKLE METAL (M) SDN BHD |
| (2) 所在地 | Plot 1499, Lorong Perusahaan Maju 8 Phase 4, Prai Industrial Estate 13600 Penang |
| (3) 資本金 | 9,300,000 マレーシアリングgit (293 百万円相当) |
| (4) 設立年 | 1995年5月 |

■会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセ口47番地
設立年月日	昭和44年8月25日
資本金	504,295,600円
事業内容	
①貴金属事業	金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理及び販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生及び販売
②環境事業	塩化第二鉄廃液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売、水処理事業、光触媒事業
③その他の事業	自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発及び販売、工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

■役員

代表取締役会長	山田 慶太
代表取締役社長	野納 敏展
取締役兼執行役員	志村 高史
取締役兼執行役員	佐久間幸雄
取締役	熊谷 巧
取締役	三崎 秀央
常勤監査役	大谷 勝男
監査役	遠藤 政勝
監査役	森 勝房

(注) 1. 取締役熊谷巧氏及び三崎秀央氏は、社外取締役であります。
2. 監査役大谷勝男氏及び遠藤政勝氏は、社外監査役であります。

■株式の状況

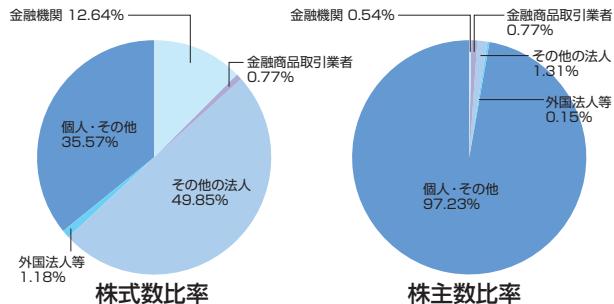
発行可能株式総数	10,200,000株
発行済株式総数	2,572,300株 (自己株式84,731株を含む)
株主数	1,300名

■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社モラル・コーポレーション	718	28.86
株式会社M&F	340	13.67
野村ホールディングス株式会社	100	4.02
株式会社常陽銀行	90	3.62
株式会社東邦銀行	81	3.26
日本生命保険相互会社	72	2.91
吉野 友裕	50	2.02
第一生命保険株式会社	50	2.01
東京中小企業投資育成株式会社	50	2.01
大柴 正己	43	1.74

(注) 当社は自己株式(84,731株)を保有しておりますが、議決権がないため上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社保有の自己株式(84,731株)を控除して計算しております。

■ 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
配当金受領株主確定日	9月30日
	なお、中間配当を実施するときは3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711（通話料無料）
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL：0120-49-7009（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.asaka.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行為口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

相馬野馬追・神旗争奪戦(南相馬市)



打ち上げられた花火の中からゆっくり落ちてくる御神旗を騎馬武者たちが争奪する行事。雲雀ヶ原の祭場地に隣接する本陣山から陣螺が鳴り響くと、雲雀ヶ原一面に500余騎が広がり、花火1発ごとに2本の御神旗が舞い降りる。御神旗を勝ち取った騎馬武者は高々と御神旗を掲げ、羊腸の坂を本陣山山頂に向けて一気に駆け上がる。

福島の旅が丸わかり!!

で検索 <http://www.tif.ne.jp>

うつくしま観光プロモーション推進機構（公益財団法人福島県観光物産交流協会 内）
福島市三河南町1番20号コラッセふくしま7階 TEL：024-525-4024